

HPVワクチン任意接種費用を助成します

任意接種を希望する **小学校6年生から高校1年生相当年齢までの港区民の男子**の方が対象です。

※女子の方は定期予防接種として実施しています。

申込・助成について

接種前に港区ホームページまたは電話でお申し込みください



申込み先 みなと保健所保健予防課

電話番号 03-6400-0081

◀港区ホームページ

<https://www.city.minato.tokyo.jp/hokenyobou/yobousessyu/hpv.html>

接種場所 区内実施医療機関

最大3回分の接種費用を全額助成します。

※接種は任意です。保護者の方や医師と相談のうえ接種してください。

※区内の実施医療機関以外で接種する場合は、助成を受けられません。

※接種後に費用を請求できる償還払いの制度はありません。必ず事前に申請して専用の予診票を医療機関に持参し、接種時に助成を受けてください。



対象ワクチン

組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン (ガーダシル®)

※2価及び9価のHPVワクチンは、令和6年12月現在日本では男性への接種が薬事承認されていません。



対象者

接種日現在、港区に住民登録のある小学校6年生から高校1年生相当年齢までの男子で、HPVワクチン接種を既定の回数まで完了していない方



費用の助成期間は、対象者が高校1年生相当年齢になる年度の末日まで

※令和6年度に高校1年生相当年齢になる男子については、本助成事業によって令和6年度中に1回以上の接種を受けた方のみ、令和7年度末を限度に接種が完了するまで接種費用を助成します。

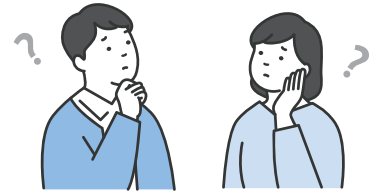
ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症について

ヒトパピローマウイルス (HPV) は、主に性行為によって感染するウイルスです。性行為を経験する年齢になれば、男女を問わず多くの人がHPVに感染します。ウイルスの遺伝子型は200種類以上あり、ほとんどは問題を起こしませんが、その一部は子宮頸がんのほか肛門がん、尖圭コンジローマなどの疾患の原因になることが分かっています。



男性のHPVワクチン接種の効果

男性がワクチンを接種することで、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えられているHPVへの感染予防が期待できます。加えて、男性がワクチン接種による感染予防をすることで、性交渉によるHPV感染から女性を守り、子宮頸がんの予防にもつながる可能性があります。



副反応について

HPVワクチン接種後には接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

50%以上	10%以上	1~10%未満	0.1~1%未満	頻度不明
疼痛*	紅斑*、 腫脹*	頭痛、 そう痒感*、 発熱	下痢、腹痛、 めまい、感覚鈍麻、 四肢痛、筋骨格硬直、 硬結*、出血*、 不快感*、内出血*、 変色*、知覚低下*、 熱*、倦怠感など	失神、嘔吐、関節痛、 筋肉痛、血腫*、 無力症、悪寒、 疲労など

ガーダシル® 添付文書2023.3月改訂(第3版)より

* 接種した部位の症状

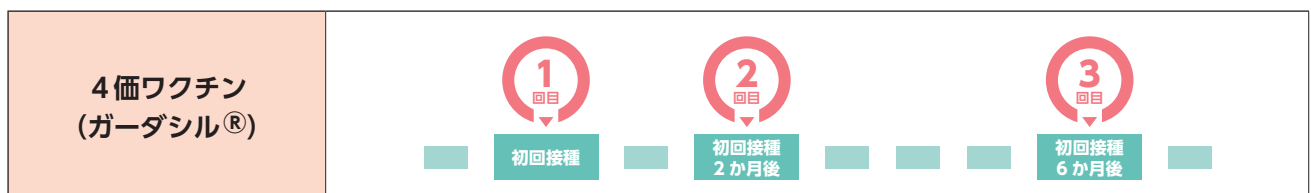
医薬品副作用被害救済制度

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。

予防接種法に基づく予防接種ではないため、接種後に副反応による入院、生活に支障が出るような障害を残す等の健康被害が生じ、医療費等の給付の請求を独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に行い、PMDAが給付の支給を決定した場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法と特別区自治体総合賠償責任保険制度に基づいた救済の対象になります。

一般的な接種スケジュール

合計3回の接種が必要なワクチンです。



※1年以内に3回の接種を終了することが望ましい。

※ワクチンの2回目及び3回目の接種が初回接種の2か月後及び6か月後にできない場合、2回目接種は初回接種から少なくとも1か月以上、3回目接種は2回目接種から少なくとも3か月以上間隔を置く。